

令和 2 年度

新宿区立新宿 N P O 協働推進センター
指定管理者の管理業務に係る事業評価結果

令和 3 年 9 月

新宿区

目 次

I	評価の目的	1
II	評価の概要	2
1	評価者	2
2	評価委員会開催概要	2
3	評価項目	2
4	評価対象	2
5	評価方法	2
III	評価の結果	3
1	評価結果	3
2	項目別の評価	4
3	総合評価・全体評価	7
IV	施設の概要	8
1	施設概要	8
2	指定管理者	9
3	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応	9
○	参考資料	
1	新宿区立新宿NPO協働推進センターの指定管理者の管理業務 に係る事業評価に関する要綱	10
2	運営状況	12
3	アンケート結果	14

この事業評価結果における「NPO」とは、特定非営利活動法人またはボランティア活動団体及び市民活動団体等の社会貢献活動（営利を目的とせず、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的として、自発的に行われる活動）を行う団体を指しています。

I 評価の目的

新宿区立新宿NPO協働推進センター（以下「NPOセンター」という。）は、新宿区内において社会貢献活動を行う特定非営利活動法人その他の多様な主体の協働の取り組みを推進し、地域の課題を解決するための基盤を整備することにより、区内における社会貢献活動の健全な発展を図り、もって区民の福祉の向上に寄与するため、平成25年4月1日に開設しました。

NPOセンターの管理運営については、効率的で質の高いサービスを提供できるように、指定管理者制度を導入し、指定管理者選定に係る評価、議会の議決など必要な手続きを経て、一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会を指定管理者として指定しました。

新宿区では、指定管理者の管理業務が協定書の定めに従って適正に行われたか、また、施設の設置目的に沿って円滑に運営し、施設利用者へのサービスの向上がなされたかなどを検証するために、毎年度終了後、指定管理者の管理業務の事業評価を実施することとしています。

NPOセンターにおいても、評価の結果を今後の管理業務に反映させ、利用者へのより良いサービスの提供に寄与できるよう、外部委員の参画による新宿区立新宿NPO協働推進センター指定管理者事業評価委員会を開催し、令和2年度の指定管理者管理業務の事業評価を実施しました。

この事業評価結果は、同評価委員会による評価や意見を踏まえ、新宿区が取りまとめ、決定したものです。

事業評価結果は、今後の管理業務の改善及びサービスのより一層の向上のため、指定管理者に通知します。

Ⅱ 評価の概要

1 評価者

- (1) 名 称 新宿区立新宿NPO協働推進センター指定管理者事業評価委員会
- (2) 構 成
 - 評価委員 5名（外部委員3名・内部委員2名）
 - 早田 宰 （早稲田大学社会科学総合学術院教授）
 - 関口 宏聡 （認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
代表理事）※委員長（各評価委員の互選により選任）
 - 加藤 弘美 （税理士）
 - 高橋 美由紀 （新宿区地域振興部生涯学習スポーツ課長）
 - 神崎 章 （新宿区地域振興部多文化共生推進課長）

2 評価委員会開催概要

- (1) 日 時 令和3年7月2日（金） 午後1時30分から午後4時まで
- (2) 場 所 新宿区立新宿NPO協働推進センター 5階 501会議室
- (3) 出席者
 - ア 評 価 者：評価委員 4名（1名は当日欠席）
 - イ 指定管理者：新宿区立新宿NPO協働推進センター職員 2名
 - ウ 事 務 局：地域振興部地域コミュニティ課職員 3名
- (4) 内 容 施設見学、指定管理者による事業説明、質疑応答、各評価委員による評価、評価に基づく意見交換、施設所管課による各委員の評価の取りまとめ

3 評価項目

- (1) 施設の運営に関すること
- (2) 利用・サービスに関すること
- (3) 施設・設備の管理に関すること
- (4) 管理運営経費に関すること
- (5) 事業に関すること

4 評価対象

指定管理者から提出された令和2年度事業計画書、令和2年度事業実績報告書及び自己評価資料を基に、評価委員会当日の指定管理者による事業説明及び質疑応答により、評価を行いました。

5 評価方法

各評価委員が評価項目ごとの個別評価及び総合評価を行い、その平均値を踏まえ、区が全体評価を決定しました。

Ⅲ 評価の結果

1 評価結果

評価項目	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	評価 (平均)
1 施設の運営に関すること	3	3	3	2		2.8
2 利用・サービスに関すること	3	4	3	3		3.3
3 施設・設備の管理に関すること	4	3	3	2		3.0
4 管理運営経費に関すること	3	3	3	3		3.0
5 事業に関すること	2	4	4	3		3.3
総合評価	3	3	3	3		3.0
全体評価	3 (良)					

【評価の見方】

(1) 個別評価・総合評価

4：優良、3：良、2：適当、1：課題あり

(2) 全体評価

「総合評価」欄の数値を下記基準により全体評価として記載

3.5以上 の場合 4：優良

2.5以上3.5未満 の場合 3：良

1.5以上2.5未満 の場合 2：適当

1.0以上1.5未満 の場合 1：課題あり

2 項目別の評価

(1) 施設の運営に関すること

「施設の運営に関すること」について、下記の8つの小項目で評価を行いました。

① 利用率・稼働率	目標とした「利用率・稼働率・利用者数等」について達成できたか。また、それらの向上策を実行したか。
② 職員体制	適正な職員配置計画を立て施設運営に支障のない勤務体制をとったか。
③ 職員教育	業務・危機管理・個人情報保護に関する研修等、業務に必要な知識を身に着ける努力はなされたか。
④ 緊急時の対応	事故等の緊急時の対応体制が整備されていたか。また、緊急時に適切な対応が取られたか。
⑤ 区との連絡調整	仕様書に示される区との連絡、調整などに関わる業務は適切に行われたか。
⑥ 適正な労働環境の確保	適正な労働環境の確保を図っていたか。
⑦ 新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため必要な対策を講じたか。
⑧ その他施設の運営	その他協定書及び仕様書に定める施設の運営に関し、必要な措置を講じたか。

【評価】 2. 8

施設運営において、職員の事情等に合わせた勤務体制をとるとともに、在宅勤務やリモートワークを導入し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせた労働環境の確保が図られています。

また、事業として実施する講座を研修として位置づけ、職員にも受講をさせることにより、効率的に職員の育成が行われています。今後は、外部研修にも積極的に参加させ、施設の運営に活かされることを期待します。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、稼働率は目標を達成できませんでしたが、こうした状況下においても、区内団体へのアンケート調査を行うなど、新たなニーズの汲み取りが行われています。今後、本施設が更に多くの団体に利用されることを期待します。

(2) 利用・サービスに関すること

「利用・サービスに関すること」について、下記の5つの小項目で評価を行いました。

① 利用手続	利用手続きは適正かつ公正に行われたか。
② 利用者サービスの向上	利用者の利便性を確保し、また、利便性向上その他に寄与するサービス・事業に努めたか。
③ 利用者対応・接客	利用者への対応・接客は良好に行われたか。
④ 利用者要望の把握・対応	利用者の要望把握は適切に行われたか。また、業務に生かされたか。
⑤ 個人情報等の適切な対応	個人情報保護を徹底していたか。また、情報公開に関する対応が適切に行われたか。

【評価】 3. 3

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応における利用自粛に伴う利用料金の還付手続きなど、区と協議の上、柔軟に対応しているものと評価できます。

また、施設利用、講座等において、アンケートを実施、分析を行い、利用者ニーズの把握に努める取り組みも進められています。

参加者の少ない講座や作業室の利用者が少ない状況については、引き続き利用者ニーズの分析を行い、さらなるサービス向上に向けて取り組んでいくことを期待します。

(3) 施設・設備の管理に関すること

「施設・設備の管理に関すること」について、下記の3つの小項目で評価を行いました。

① 施設・設備管理	事業計画書等に基づいた施設・設備管理業務が適切に行われたか。
② 修繕・備品管理	施設修繕や備品管理は適切に行われたか。
③ 省エネルギー・省資源	省エネルギー・省資源等に努めたか。

【評価】 3. 0

委託業者による法律に基づいた建築物定期点検のほか、職員による巡回時における日常の点検により、大きな故障等もなく適切に施設・設備・備品の管理が行われています。

省エネルギー・省資源への取り組みについても、各部屋に温度計を設置し、エアコンの設定温度の注意書きを掲示するなど、職員や利用者へ向けて省エネルギー意識の喚起が行われているものと評価します。

引き続き、利用者が快適に利用できる施設を維持するため、適切な管理に努めていくことを期待します。

(4) 管理運営経費に関すること

「管理運営経費に関すること」について、下記の3つの小項目で評価を行いました。

① 適正な会計	適正な会計管理による収支状況であるか。
② 目標の達成	目標とした利用収入・収益率を達成することができたか。
③ 経費削減、収入・利益率確保の努力	経費節減、収入・利益率確保に向けた努力はなされたか。

【評価】 3. 0

会計処理については、毎月の月次報告書で区に報告されており、適正な会計管理がなされています。

施設運営に必要な修繕や施工を職員自ら行うなど、工夫を凝らしたことにより、経費の削減や状況に応じたコスト管理に努めているものと評価します。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、稼働率は目標に届かず、講座等の実施事業においても目標の参加者数に届いていないことから、利用料金収入及び実施事業収入は予算を下回っています。

今後、新しい生活様式を踏まえたテレワーク等の普及により、利用者の活動範囲も変化し、施設の利用が減少することも想定されることから、稼働率向上に向けた新たな取組みを検討のうえ実施し、安定的な収入の確保に努めていくことを期待します。

(5) 事業に関すること

「事業に関すること」について、下記の2つの小項目で評価を行いました。

① 事業実施	事業計画書等に基づき計画した事業を実施したか。
② 事業効果	施設の設置目的に照らして、事業は効果的に行われたか。

【評価】 3. 3

Web会議システムの導入により、事業計画書等に基づき、滞りなく効果的に事業が実施されています。

QRコードによる参加申込の開始やオンライン方式と対面方式を併用して事業を実施するなど、参加者の利便性や満足度を高める工夫がなされているものと評価します。

一方で、参加者が少ない講座もあるため、情勢に合った団体支援の講座を企画するなど、実施時期や対象者、テーマを精査し、新たな視点から施設の設置目的に即した事業を柔軟に展開していくことを期待します。

3 総合評価・全体評価

令和2年度の指定管理者の管理業務について、各評価委員の総合評価の平均は「3.0」となりました。また、各評価委員の意見を踏まえ、全体評価は、評価基準（2.5以上3.5未満→3：良）に照らし、「3：良」と評価しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用の中止や自粛が求められる中、感染症対策を講じた上で適切に施設管理・運営がなされていると評価します。

講座等の実施事業においてWeb会議システムを導入したことにより、時間や距離の都合で参加することが難しかった受講者を確保するなど、新たな利用者の掘り起こしにつながっている点も評価できます。

新型コロナウイルス感染症の影響下においても、職員のアイデアや柔軟な発想を活かした取組みが行われていますが、稼働率については令和元年度に引き続き減少しています。新しい生活様式を見据え、オンラインやWebでの情報発信機能の強化や自主事業の充実といった積極的な取組みが行われることを期待します。

協働の推進を図るための社会貢献活動を支える拠点として、一層の周知を行うとともに、より活発な団体支援の方策を講じていくことで、区内の社会貢献活動の活性化に繋がることを期待します。

IV 施設の概要

1 施設概要

- (1) 施設名称 新宿区立新宿NPO協働推進センター
- (2) 所在地 東京都新宿区高田馬場四丁目36番12号
(併設：しんえい子ども園もくもく、しんえい学童クラブもくもく、防災ルーム、防災備蓄倉庫)
- (3) 施設規模
- ア 複合施設全体
土地面積：4,264.16㎡
建物面積：4,126.61㎡
構造：校舎棟 地上5階建て 鉄筋コンクリート造
屋内運動場棟 地上2階建て 鉄骨造 RC造
- イ 新宿区立新宿NPO協働推進センター
延床面積：1,804.88㎡
(会議室等：1,110.88㎡ 多目的室：694㎡)
多目的グラウンド：1,423㎡
- (4) 開館時間等
- ア 開館時間：午前9時～午後10時
- イ 利用時間：午前9時～午後9時45分
- ウ 休館日：毎月第二火曜日・年末年始
- (5) 主要施設

階	室名	面積 (㎡)	定員 (人)	特徴
5階	501会議室	92.74	72	音響装置、天井備付けプロジェクター完備
4階	401会議室A	30.66	16	A・B合わせて一体利用可能
	401会議室B	30.66	16	
	受付、フリースペース、作業室、事務室			
3階	倉庫			
2階	2階多目的室	350.79	264	運動利用可能・土足厳禁
	男女更衣室			
1階	101会議室	43.63	18	
	102会議室	34.24	16	防音仕様
	1階多目的室	181.5	81	運動利用可能・土足厳禁
屋外	多目的グラウンド	1,423		日・祝日のみ利用可能

2 指定管理者

(1) 指定管理者名

一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会

(2) 指定期間

平成31年4月1日から令和4年3月31日まで（3年間）

(3) 業務の範囲

新宿区立新宿NPO協働推進センター条例（平成24年新宿区条例第38号以下「条例」という。）第3条及び第6条に規定する以下の業務とする。

- ・ 社会貢献活動に関する情報の収集及び発信並びに普及啓発に関する業務
- ・ 社会貢献活動を行う団体等のネットワークづくりその他当該団体等の活動の推進に関する業務
- ・ センターの利用に関する業務
- ・ 条例第21条に規定する団体登録、条例第22条に規定する利用の承認、条例第23条に規定する利用の不承認及び条例第24条に規定する利用承認の取消し等に関する業務
- ・ 条例第27条に規定する利用料金の納入、条例第29条に規定する利用料金の減免及び条例第30条に規定する利用料金の返還に関する業務
- ・ センターの施設及び設備の維持管理に関する業務
- ・ その他センターの管理に関し、区長が必要と認める業務

3 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応

～令和2年4月5日	利用自粛の要請
4月6日～4月7日	団体利用中止
4月8日～7月14日	利用中止
7月15日～	利用再開（利用定員の制限（半数以下））
令和3年1月5日～	利用区分「夜間（18:00～21:45、18:00～21:00）」 の新規受付中止
1月8日～	利用区分「夜間（18:00～21:45、18:00～21:00）」 の利用自粛の要請 20:00以降のフリースペースの利用中止

新宿区立新宿NPO協働推進センターの指定管理者の管理業務に係る
事業評価に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、新宿区立新宿NPO協働推進センター（以下「NPOセンター」という。）の指定管理者が実施した管理業務に係る事業を評価するにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(評価委員会の設置)

第2条 区長は、指定管理者が行うNPOセンターの管理業務に関する評価（以下「評価」という。）を行うため、新宿区立新宿NPO協働推進センター指定管理者事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる職にある者につき、区長が委嘱し、又は任命する委員5人をもって組織する。

- (1) 外部委員 3名
- (2) 内部委員 2名

2 委員会に委員長を置き、委員長は委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総理する。

4 委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

5 委員に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する者がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日又は任命の日から所定の評価業務が終了した日までとする。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、委員の半数以上の委員の出席がなければ委員会を開くことができない。

3 委員長は、必要に応じ委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(評価の基準)

第6条 NPOセンターの評価は、次に掲げる項目について、別に定める評価の基準により行うものとする。

- (1) 施設の運営に関すること。
- (2) 利用・サービスに関すること。
- (3) 施設・設備の管理に関すること。
- (4) 管理運営経費に関すること。
- (5) 事業に関すること。

(評価の方法)

第7条 委員は、前条の評価を次のとおり行う。

- (1) 指定管理者が提出した事業実施報告書その他委員会が必要と認める書類による評価
- (2) 指定管理者に対するヒアリングによる評価

(評価の決定)

第8条 委員による評価を踏まえ、区長が評価結果を決定するものとする。

(評価の対象)

第9条 委員が行う評価の対象は、当該年度の前年度に実施した管理業務とする。

(委員会の庶務)

第10条 委員会の庶務は、地域振興部地域コミュニティ課が処理する。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、別に定める。

附 則 (平成26年7月9日 26新地地管第647号 地域文化部長決定)

この要綱は、平成26年7月9日から施行する。

附 則 (平成28年3月25日 27新地地管第1991号 地域文化部長決定)

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年3月19日 2新地地管第1556号 地域振興部長決定)

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

運営状況

(1) 施設別利用状況等

① 施設稼働率・利用者数

施設名	稼働率			利用人数
	利用可能区分数	利用区分数	稼働率	
101会議室	674	59	8.8%	198
102会議室	671	34	5.1%	128
401A会議室	674	150	22.3%	1,038
401B会議室	674	127	18.8%	439
501会議室	689	233	33.8%	2,071
1階多目的室	671	9	1.3%	133
2階多目的室	672	48	7.1%	569
多目的グランド	95	9	9.5%	356
計	4,820	669	13.9%	4,932
元年度計	7,385	3,018	40.9%	32,447
前年度比	65.3%	22.2%	33.9%	15.2%

※利用可能区分数は、各施設ごとに保守点検等により利用不能となった区分数を差し引いた数である。

※利用可能区分数及び利用区分数は、1日を3区分（午前・午後・夜間）した区分数の合計である。

※新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセルについては全額返金とした。

② 相談件数

	2年度	元年度	前年度比
訪問	28	52	53.8%
電話	237	227	104.4%
メール	10	7	142.9%
合計	275	286	96.2%

③ 登録団体数

	2年度	元年度	前年度比
NPO法人	69	67	103.0%
社団・財団社会福祉法人	12	11	109.1%
任意団体	7	8	87.5%
地域団体	1	1	100.0%
その他	0	0	0.0%
合計	89	87	102.3%

(2) 収支状況

① 指定管理業務 収支状況

収入			
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	達成率
指定管理料 ※	65,049,000	65,722,883	101.0%
利用料金収入	2,633,000	355,950	13.5%
実施事業収入	555,000	242,500	43.7%
収入計 (A)	68,237,000	66,321,333	97.2%

※ 指定管理料については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、収支を精査の上、673,883円の増額となった。

支出				
項目		予算額 (円)	決算額 (円)	執行率
管理運営費	人件費	22,926,000	19,751,025	86.2%
	旅費交通費	1,452,000	1,047,609	72.1%
	消耗品費	1,635,000	1,454,894	89.0%
	印刷製本費	528,000	454,127	86.0%
	通信運搬費	523,000	444,253	84.9%
	光熱水費 ※	2,965,000	2,207,982	74.5%
	修繕費	1,144,000	593,024	51.8%
	貸借料	3,045,000	2,716,933	89.2%
	委託料	12,583,000	11,542,673	91.7%
	法人本部経費	11,228,000	12,868,385	114.6%
	その他支出 ※	220,000	225,098	102.3%
実施事業費	人件費	6,422,000	4,488,273	69.9%
	旅費交通費	358,000	198,746	55.5%
	謝礼	1,320,000	1,184,118	89.7%
	消耗品費	407,000	362,664	89.1%
	印刷製本費	179,000	124,890	69.8%
	その他支出	1,302,000	972,323	74.7%
支出計 (B)		68,237,000	60,637,017	88.9%

※ 新型コロナウイルス感染症による見直しの結果、管理運営費のうち光熱水費及びその他支出について800,734円の返還となった。

収支		
項目	予算額 (円)	決算額 (円)
収入計 (A)	68,237,000	66,321,333
支出計 (B)	68,237,000	60,637,017
収支差額 (A - B)	0	5,684,316

② 自主事業 収支状況

収入			
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	達成率
自動販売機売上	197,000	100,582	51.1%
その他有料サービス (コピー機・印刷機、消耗品販売他)	317,000	65,945	20.8%
収入計 (A)	514,000	166,527	32.4%

支出			
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	執行率
自動販売機売上	108,000	63,217	58.5%
その他有料サービス (コピー機・印刷機、消耗品販売他)	171,000	29,155	17.0%
支出計 (B)	279,000	92,372	33.1%

収支		
項目	予算額 (円)	決算額 (円)
収入計 (A)	514,000	166,527
支出計 (B)	279,000	92,372
収支差額 (A - B)	235,000	74,155

アンケート結果

(1) 施設貸出業務

ア アンケート回収方法

施設の利用前にアンケートを配布し、利用後に回収。回答・提出は任意。

イ 期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日

ウ 回収総数

209枚

利用団体が複数の場合等、複数回答している項目もあるため、アンケート回収総数と結果総数は必ずしも一致していない。

エ 集計結果

① 年代(複数回答可)

※多い順に列記 回答項目の記載 ☐20代以下 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代以上

項目	年代	結果
1	20代	112
2	40代	77
3	50代	77
4	60代	64
5	30代	43
6	70代以上	23

② 利用頻度

※多い順に列記 回答項目の記載 ☐初めて ☐年に1回 ☐月に1回 ☐週に1回 ☐週に2回以上

項目	利用頻度	結果
1	月に1回	99
2	それ以上(週に2回以上)	40
3	週に1回	39
4	年に1回	15
5	初めて	11

③ 所属団体

回答項目の記載 ☐NPO団体 ☐一般 ☐その他

項目	所属団体	結果
1	NPO団体	136
2	一般	55
3	その他	16

④ 利用人数

※利用人数を5人ごとの項目に分けて分類

項目	利用人数	結果
1	2～5人	72
2	6～10人	58
3	11～15人	40
4	16～20人	23
5	21人以上	13

⑤ 使いやすさ

回答項目の記載 ☐大変満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐大変不満

項目	使いやすさ	結果
1	大変満足	134
2	やや満足	40
3	普通	25
4	やや不満	0
5	大変不満	0

⑥ 利用区分・時間

回答項目の記載 ☐大変満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐大変不満

項目	使いやすさ	結果
1	大変満足	139
2	やや満足	37
3	普通	21
4	やや不満	0
5	大変不満	0

⑦ 予約のしやすさ

回答項目の記載 ☐大変満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐大変不満

項目	予約のしやすさ	結果
1	大変満足	132
2	やや満足	32
3	普通	18
4	やや不満	12
5	大変不満	4

⑧ スタッフの対応

回答項目の記載 ☐大変満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐大変不満

項目	スタッフの対応	結果
1	大変満足	143
2	やや満足	33
3	普通	22
4	やや不満	0
5	大変不満	0

⑨ 施設全体の満足度

回答項目の記載 ☐大変満足 ☐やや満足 ☐普通 ☐やや不満 ☐大変不満

項目	施設全体の満足度	結果
1	大変満足	132
2	やや満足	43
3	普通	23
4	やや不満	0
5	大変不満	0

⑩ 質問⑤から⑨で 5「大変不満」と答えた方が、そのように感じた理由

※回答総数4

項目	意見	結果
1	予約手続き(一般利用でもネット予約ができるようにしてほしい)	4

⑪ 当施設の管理運営に関すること、実施してほしい事業やサービス等(自由記述)

※回答総数3

項目	意見
1	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分にしている
2	利用料金の還付手続きが煩雑
3	フロアワックスが滑りやすい

(2) 講座事業業務

ア アンケート回収方法

講座開催後、参加者から回収。

イ 対象講座

令和2年度に開催の30講座(参加者のべ217名)

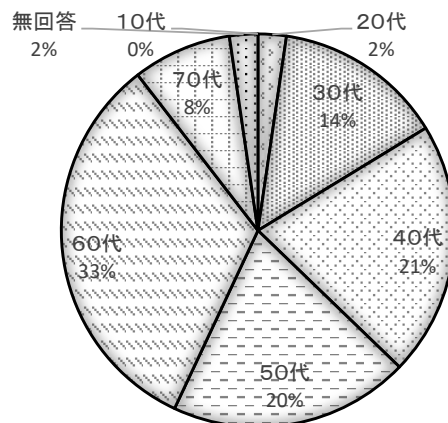
ウ 回収総数

86枚(回収率40%)

エ 集計結果

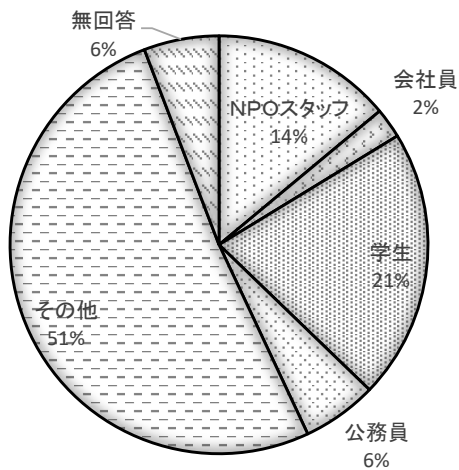
①年代別

10代	0	0.0%
20代	2	2.3%
30代	12	14.0%
40代	18	20.9%
50代	17	19.8%
60代	28	32.6%
70代	7	8.1%
無回答	2	2.3%
総数	86	100%



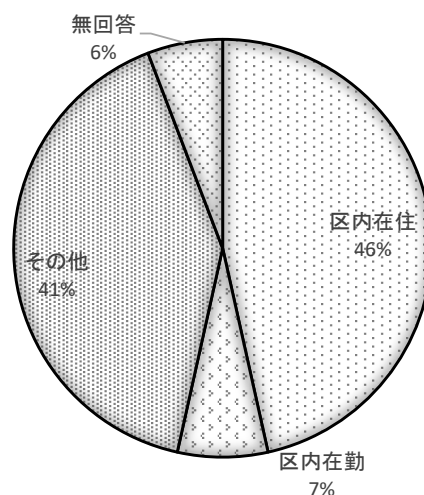
②職業別

NPOスタッフ	12	14.0%
会社員	2	2.3%
学生	18	20.9%
公務員	5	5.8%
その他	44	51.2%
無回答	5	5.8%
総数	86	100%



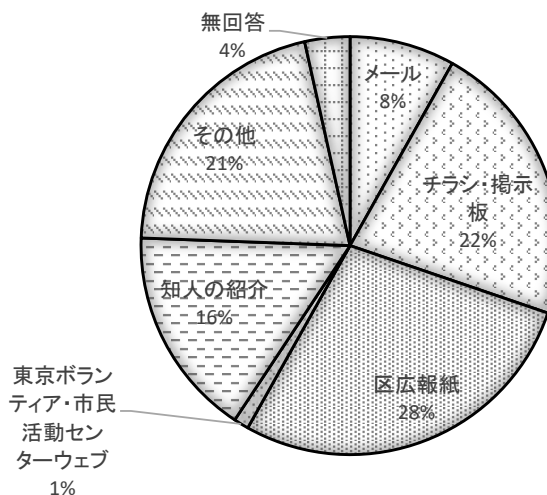
③種別

区内在住	40	46.5%
区内在勤	6	7.0%
その他	35	40.7%
無回答	5	5.8%
総数	86	100%



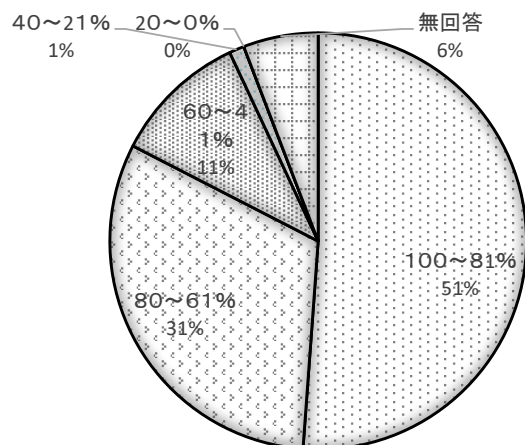
④講座を知った方法(複数回答あり)

メール	7	8.1%
チラシ・掲示板	19	22.1%
区広報紙	24	27.9%
東京ボランティア・市民活動センターウェブ	1	1.2%
知人の紹介	14	16.3%
その他	18	20.9%
無回答	3	3.5%
総数	86	100%



⑤講座の満足度

100～81%	44	51.2%
80～61%	27	31.4%
60～41%	9	10.5%
40～21%	1	1.2%
20～0%	0	0.0%
無回答	5	5.8%
総数	86	100%



オ 主な意見

【満足度100%～81%の意見】

- ・説明が丁寧で初心者にもわかりやすかった。
- ・具体的な事例も交えていただきわかりやすかった。

【満足度80～61%の意見】

- ・質疑応答の時間があって良かった。

【満足度60～41%の意見】

- ・講座の設定範囲が広すぎる。

【満足度40%以下の意見】

- ・講座のタイトルとは違う内容であった。

(3) 交流事業業務

ア アンケート回収方法

交流事業開催後、参加者から回収。

イ 対象交流事業

令和2年度に開催の5回の交流事業(参加者のべ145名)

	企業	プロボノ	応援団体	地域	学生	合計
参加者数内訳	30	25	27	41	22	145

ウ 回収総数

39枚(回収率 27%)

エ 集計結果

① 交流事業を知った方法

広報媒体	企業	プロボノ	応援団体	地域	学生	合計
メール	1	7	3	6	7	24
新宿区広報紙	2	0	1	0	0	3
チラシ	0	1	0	0	0	1
東京ボランティア市民活動センターWebサイト	0	0	1	0	0	1
その他Webサイト	2	0	1	2	0	5
知人からの紹介	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	1	1	0	2
合 計	7	8	7	9	7	38

② 交流事業の満足度

交流事業名	満足度(%)
企業とNPOの交流事業	85.00
プロボノとNPOの交流事業	95.71
応援団体とNPOの交流事業	89.16
地域とNPOの交流事業	84.44
学生とNPOの交流事業	82.86
平 均	87.43

③ 男女別

交流事業名	男性	女性	合計
企業とNPOの交流事業	5	2	7
プロボノとNPOの交流事業	3	5	8
応援団体とNPOの交流事業	6	1	7
地域とNPOの交流事業	7	2	9
学生とNPOの交流事業	4	3	7
合 計	25	13	38

④ 年代別

交流事業名	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
企業とNPOの交流事業	0	0	1	1	1	1	2	1	7
プロボノとNPOの交流事業	0	1	0	2	1	2	2	0	8
応援団体とNPOの交流事業	0	0	0	3	3	0	0	1	7
地域とNPOの交流事業	0	0	2	1	2	3	0	0	8
学生とNPOの交流事業	1	4	0	1	0	1	0	0	7
合 計	1	5	3	8	7	7	4	2	37

オ 主な意見

- ・事例を軸とした話がわかりやすかった。
- ・悩みに答えていただける場を教えてもらった。
- ・さまざまな方とお話しができ、ヒントやモチベーションを得ることができた。
- ・他の学生団体の方や社会人の方と、年齢を問わず活発に交流することができたため。
- ・オンライン配信の操作方法に関して、きめ細やかなアドバイスをいただいた。

(4) 普及啓発事業業務

ア アンケート回収方法

シンポジウム開催後、参加者から回収。

イ 対象シンポジウム

令和2年度に開催の2回のシンポジウム(参加者のべ52名)

普及啓発事業名	参加者数
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	35
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	17
合 計	52

ウ 回収総数

11枚(回収率21%)

エ 集計結果

①男女別

普及啓発事業名	男性	女性	無回答	合計
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	6	5	0	11
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	0	0	0	0
合 計	6	5	0	11

②年代別

普及啓発事業名	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	1	1	1	2	3	2	0	1	11
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	2	3	2	0	1	11

③職業別

普及啓発事業名	NPOスタッフ	学生	会社員	公務員	その他	無回答	合計
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	2	2	1	0	4	2	11
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	2	1	0	4	2	11

④地域別

普及啓発事業名	在住	在勤	その他	無回答	合計
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	0	1	8	2	11
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	0	0	0	0	0
合 計	0	1	8	2	11

⑤シンポジウムを知った方法

普及啓発事業名	メール	チラシ	区広報紙	Webサイト	紹介	その他	合計
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	6	0	0	3	1	1	11
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	0	0	3	1	1	11

⑥満足度

普及啓発事業名	60%未満	60～80%	80～100%	無回答
Withコロナ社会でのNPO活動の進め方	9.0%	36.0%	55.0%	0.0%
コロナで学んだこと、気付いたこと、行動すべきこと	—	—	—	—

オ 主な意見

- ・NPO活動におけるコロナ禍での向き合い方を知ることができた。
- ・物事をさらに多方面に見直すことができた。
- ・もう少し深掘りしたお話しが聴きたかった。